

組付要領書及び部品表

Takakita

ブレンドキャスター用

日農工特4Pオートヒッチ A型キット

BS-A-2

適応機種 BS 5310SS
BS 5310TS
BS 5310SW
BS 7310SS
BS 7310TS
BS 7310SW



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために
必ず本取扱説明書をお読みください。
お読みになった後も大切に保管してください。
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや
タブレットから右記QRコードを読み込んで
アクセスすることができます。



株式会社 タカキタ

は　じ　め　に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この組付要領書は、**ブレンドキャスタ用日農工特4PオートヒッチA形**の組付要領について記載しております。組付前には必ず、この組付要領書をお読みの上、正しく組付けてください。また、ご使用前にはブレンドキャスタ本体の取扱説明書を熟知するまでお読みの上、正しくお取扱いいただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも、必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、本体の『取扱説明書及び部品表』とこの『組付要領書及び部品表』を製品に添付して、お渡しください。
- この組付要領書及び部品表を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として知っておくとお得な製品の性能や、製品自体の損傷防止に関する留意事項を書いてあります。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明なことやお気付のことがございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

▲警告サイン

▲印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

▲危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

▲警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

▲注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

オートヒッチの組付け

B S - A - 2

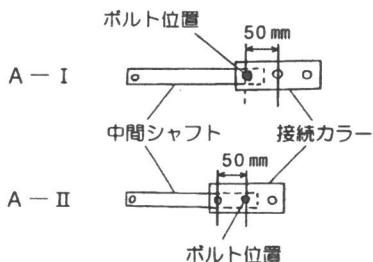
日農工特4PオートヒッチA型用部品

日農工特4PオートヒッチA型をお持ちのお客様は、下記の部品を組付けていただくとオートヒッチで本機の着脱ができます。

◆組付けする前に

特4PオートヒッチA型には、A-IとA-IIのタイプがあり、接続カラーと中間シャフトの組付け位置が異なりますので注意してください。

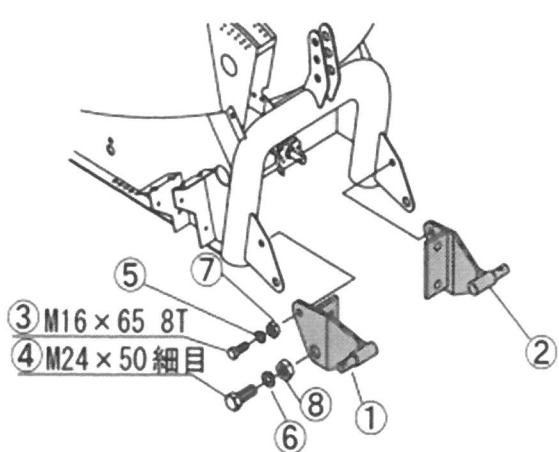
●接続カラーと中間シャフトの組付け位置



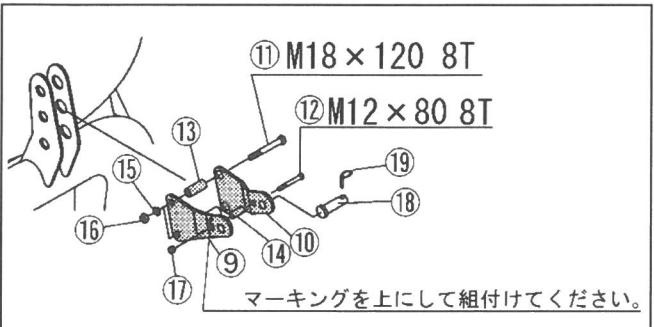
◆組付け手順

[1] フレーム関係の組付け

- (1) ①②ロワーリンクブラケット(右・左)を、本機フレーム側のブラケットの内側に③④ボルト、⑤⑥バネザガネと⑦⑧ナットで左右それぞれ2カ所ずつ組付けてください。

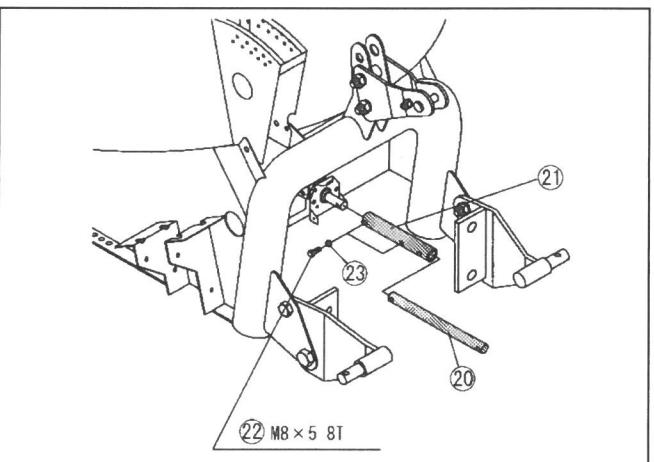


- (2) ⑨⑩トップリンクブラケット(右・左)を本機フレーム側のトップリンク部の外側にマーキングを上にして⑪⑫ボルト⑬⑭カラー、⑮バネザガネ、⑯ナット、⑰スプリングナットで左右組付け、⑲ピンを⑳リンチピンで止めてください。



[2] 軸関係の組付け

- (1) ㉐中間シャフトを本機側の入力軸と㉑接続カラーで連結し、それぞれを㉒ボルト、㉓ナイロンナットで固定します。



- (2) ㉕入力軸ブラケットに㉖高ナットを㉗平座金、㉘ボルトで組付けた後、㉙ボルト、㉚平座金、㉛スプリングナットで①、②ロワーリンクブラケットに組付けてください。

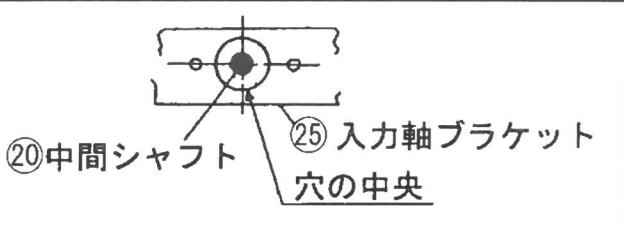
次に、㉐中間シャフトに㉔ベアリングを通して、㉖ボルト、㉗平座金、㉘スプリングナットで仮組みしてください。

オートヒッチの組付け

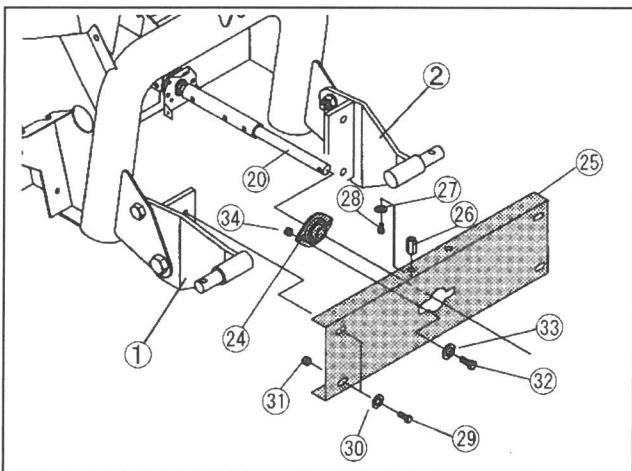
B S - A - 2

注意

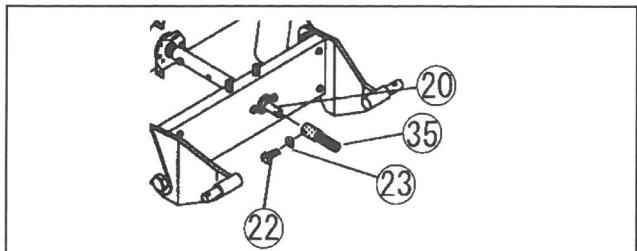
⑯中間シャフトを⑮入力軸ブラケットの⑭ベアリングに組込時は、⑯中間シャフトがフレームの穴の中央で組付けられていることを確認してください。⑯中間シャフトがズレたまま無理に組付けると、軸折れ等の原因となります。⑯中間シャフトがフレーム穴の中央に組付けられないときは弊社営業所までご連絡ください。



(3) ⑯中間シャフトと⑮入力軸ブラケットの芯が合っていることを確認し、ベアリング固定の⑬ボルト、⑭平座金、⑮スプリングナットを締め付けてください。

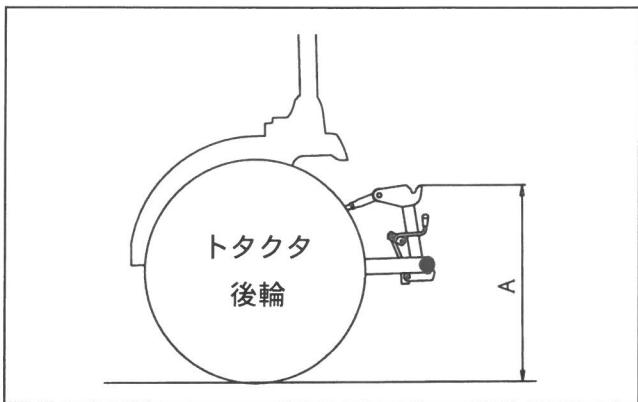


(4) ⑯スラインシャフトを⑯中間シャフトへ⑬ボルト、⑭ナイロンナットで組付けてください。

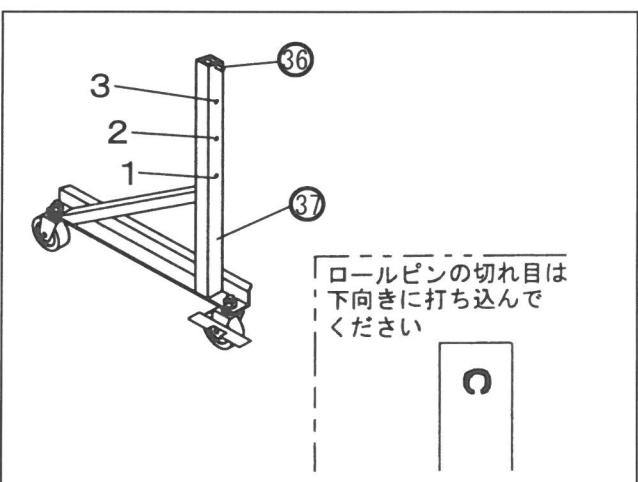


[3]スタンドの取付け

スタンドの高さは、三段階に調整できます。トラクタに装着されているヒッチの、最下げ時の地面からの高さAを測定していただき、下表を参照に、回り止めの⑯ロールピンを⑰スタンドに打ち込んでください。



Aの高さ	ロールピンの位置
710 mm以下	1
710~790 mm	2
790~870 mm	3



[4]スタンドの組付け

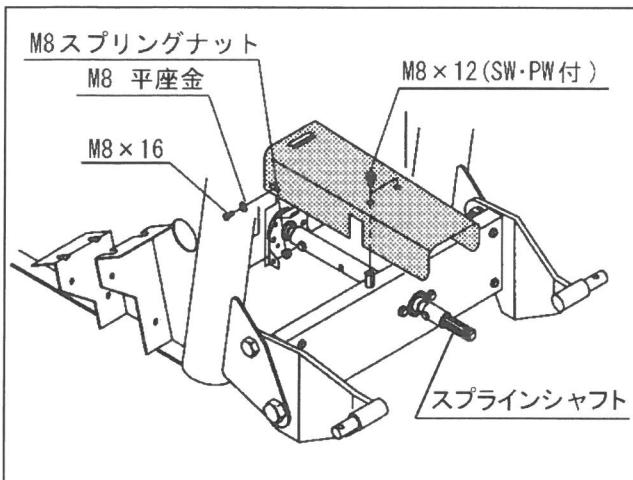
次ページの図のように、リンチピンでスタンドを組付けてください。

[5]仮ドッキング

スプラインシャフトを手で回し、カクハンアーム、スピナーナーがスムーズに回ることが確認できましたら、トラクタにドッキングしてください。

[6]カバーの組付け

最後にカバーを組付けてください。



⚠ 注意

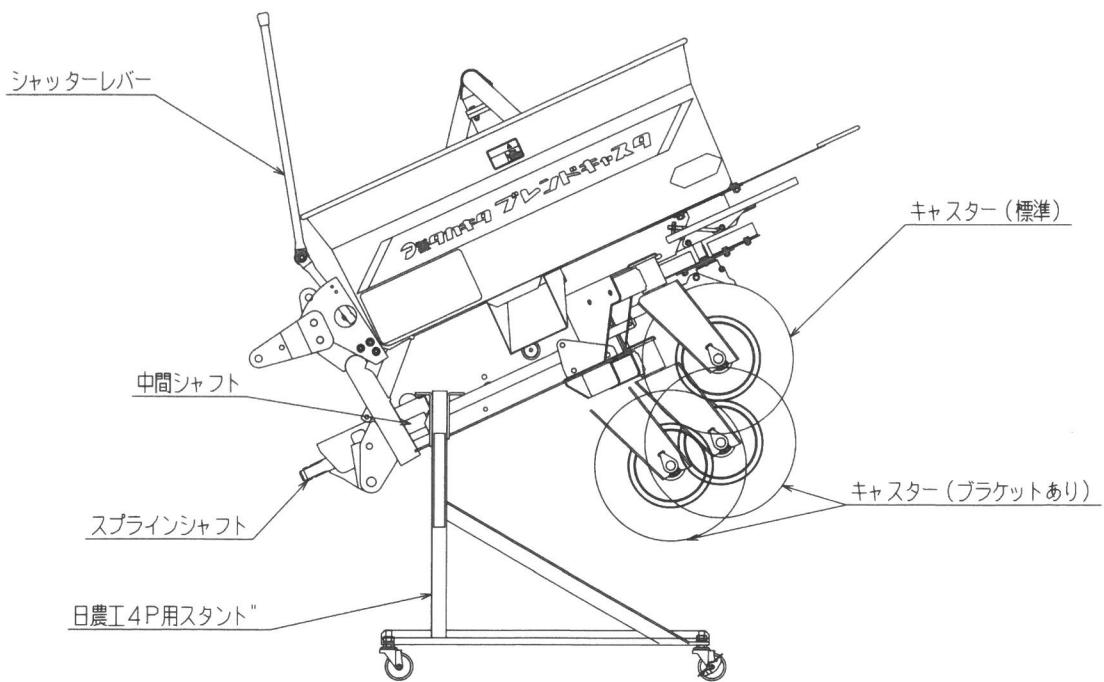
使用前に各部の組付けに誤りがないか、ボルト・ナット等が確実に締付けられているか必ず確認をしてください。

注意

- 本機の装着後、トラクタのロワーリンクをゆっくり上げ、最大持ち上げ範囲まで各部が干渉しないことを確認してください。
- トラクタの3点リンクの持ち上げ規制装置で、上昇範囲を制限してご使用ください。

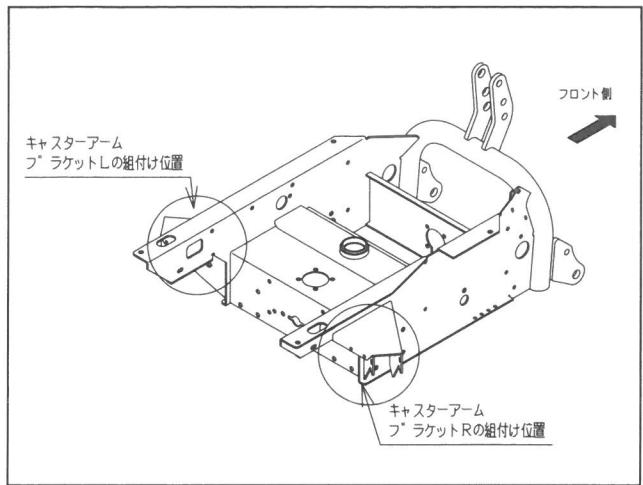
◆組立完成図

《日農工特4PオートヒッチA型》



[7] キャスター・アーム・ブラケットL・R
の組付け

ロワーリンクを一番下に下げた際に、
キャスターが地面と接しない場合は、
左右のキャスターを取り外し、ブラケッ
トを以下の図のように取り付けて、
キャスターの位置を下げてください。



◆キャスター・アーム・ブラケットR 拡大図
《左右対称》

